

東日本ユニオンに 結集しよう!



各地で新たな仲間が 続々と加入!

2017年度冬期に発生した問題の解決と浮き

安全・健康が担保された冬期体制実現を

申23号 2017年度冬期に発生した問題に関する申し入れ

新潟地本は8月15日、申23号・2017年度冬期に発生した問題に関する申し入れを提出しました。

新潟地本はこの間、冬期における安全・安定輸送を実現するために、職場の第一線で働く組合員の声をもとに、冬期体制や除雪作業、車両性能や労働環境など、問題の解決や課題の克服に向けて労使で議論を重ねてきました。



2017年度冬期の取り組みにおいては、組合側が要求してきた内容も新たに施策として盛り込まれ、一定の成果をあげてきました。

しかし、今年度も冬期体制実施前の降雪により輸送障害が発生したのをはじめ、列車の運休や遅延、運転不能となる事象が相次ぎました。

また、信越本線の444Mが東光寺帯織間で15時間以上にわたり立ち往生するなど、新潟支社内の多くの線区で長時間にわたり運転を見合わせる事

影りになった課題の克服を通じ、2018年度冬期を万全な体制で迎えるために新潟地本は8月15日、申23号として2017年度冬期に発生した問題に関する申し入れを提出しました。

◆申23号・申し入れ項目
【体制について】
1. 冬期体制を12月1日からとし、全系統で期間を統一すること。
2. 冬期における信越B車の要員を2名増とすること。
【新たな仕組みの構築について】
1. 拠点箇所に線路上の積雪を観測する機器を設置して、除雪の判断基準を設けること。
2. 長岡車両センターに構内除雪専用のMRを配備すること。また、MR担当の冬期要員を確保するとともにMRの点検、保守、

操作及び運転計画は長岡車両センターの担当とすること。
3. 消雪設備のメンテナンスは、予算措置及び周期に合わせて行う仕組みをルール化し、定期的にメンテナンスができる体制とすること。
4. えちごトキめき鉄道(株)直江津運転センター構内の指定通路を策定依頼して、除雪を行うこと。
【安全面について】
1. 乗務員への除雪は行わないこと。
【設備改善について】
1. 上越線石打駅、塩沢駅、越後川口駅構内の軌間内消雪について水が出るように整備すること。
2. 信越本線長島駅下り本線に軌間内消雪を整備すること。
【運行計画について】
1. 運行計画を現場社員に周知を行うこと。

猛暑は生ビールで吹き飛ばせ!

新潟地区分会BBQ

新潟地区分会は7月29日、新潟市の亀田公園において「BBQ in 亀田公園」を行いました。

気温38度の中、暑さに負けず家族と盛り上がりました!

焼肉、スベアブリブ、サザエ、枝豆、トウモロコシ、焼き鳥、燻製等々いっぱい食べて、生ビールで暑さを吹っ飛ばしました!



(新潟地区分会投稿)

本部申1号

賃金制度の改正に関する申し入れを提出

【架線氷結対策について】
1. 信越本線長岡〜柏崎駅間の初列車の前にカッター代行を運行すること。
また、1321MはE129系2パン編成による運用とすること。
【E129系の車両性能について】
1. ディスクブレーキの凍結対策を講じること。
2. 「電気ブレーキNFB」を運転台前面に移設すること。
3. B編成にミュージエットを設置すること。

中央本部は7月3日、申23号の回答として経営側より「賃金制度の改正」の提案を受けました。その目的として経営側は、鉄道事業の特性に由来する勤務の特殊性、不規則性に対する措置の充実に努めるとしています。

また、より労働実態に応じた手当の支給並びに制度の簡素化による事務業務の効率化等を目的に、本来の労働時間に対して手当を払うという原則に立ち返るとしました。

提案以降、組合員はもとより同じ職場で働く社員からも広く意見を求め、諸施策の実施に伴い労働環境が大きく変化し年々厳しくなる中で、安全・安定輸送と質の高いサービスを提供することへの対価として、労働時間と労働実態に見合った手当の支給を求める声が数多く寄せられました。

中央本部は本提案の全容を明らかにさせ、現場労働者の視点から労働実態

- 本部申1号 申し入れ内容
- 深夜早朝勤務手当関係
- 先行地手当関係
- 乗務員手当関係
- 賃金制度の改正関係
- その他